



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukuyadai>

# 学校だより

令和6年1月10日

1月号

横浜市立横浜深谷台小学校

校長 角井 治朗

## 考えること、行動すること

校長 角井 治朗

まずは元旦に発生した令和6年能登半島地震において被災された皆様にお見舞いを申し上げます。新年の幕開けと共に飛び込んできた大きな災害や事故のニュースに不安や悲しみを感じる一方、そのような中、箱根駅伝では力強い走りを見せる選手たちの姿に感動するなど、大きく心を揺さぶられる一年のスタートとなりましたが、冬休みが明け、学校を再開するにあたっては、しっかりと心を落ち着かせ、一步一步進んでいきたいと考えているところです。

また、去年は、保護者や地域の皆様には、本校の教育活動に温かいご支援をいただきありがとうございました。令和5年の後半は、新型コロナウイルス感染症による教育活動への影響がほぼ無くなり、様々な教育活動が実施できるようになりました。教育活動の再スタートにあたっては、それぞれの活動で何を大事にするのか、どのようなやり方が適切なのか等々、再開の仕方については校内でも多くの話し合いの時間をもちながら進めてきましたが、まだまだ試行錯誤の状況です。ぜひ、保護者、地域の皆様からのご意見をいただきながら、慌てずに着々と整えていかれたらと思っています。本年もご家庭、地域をはじめ、様々な方々にお力添えをいただき、共に子どもたちの成長を支えていかれたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、12月の学校だよりでもお伝えしたように、本校では、12月に人権週間の取組を行いました。生活アンケートを実施したほか、クラスごとに、一人ひとりの人権を守るために大切にしたいことについて話し合ったり考えたりする時間をもってきました。また、各クラスで話し合ったことを朝会でも発表し合いました。それらの結果からいくつか言葉を拾い出してみると、「みる・きく・はなす」「あいさつ」「なかよく」「相手の気持ち」「安心」「言葉遣い」「行動」「コミュニケーション」などのキーワードが見られます。これらの言葉を見るだけでも、それぞれのクラスでどんな話し合いがなされ、何を大事にしたいと考えたのかを感じ取ることができますが、大切なことは、このように話し合い、考えたことを一時で終わらせず、常に意識しながら実際の行動に結び付けていくことです。また、間違った行動をしたときには、これらの言葉に立ち返り、自己を振り返るとことも大切でしょう。ぜひ、ご家庭でも、学校でどのようなことを話し合ったのか話題にし、家庭での生活を振り返るきっかけにいただければ幸いです。

今年度も残すところ3ヶ月足らずとなり、今年度の振り返りや次年度の準備が本格化する時期になりました。学校では、12月にご協力いただいた学校評価アンケートの結果もしっかりと受け止め、次年度に向けた学校づくりの準備を進められたらと思います。そして、ご家庭や地域、さまざまな関係機関とも連携しながら、年度のしめくくりを着実に進めていきたいと思っています。